

令和6年千葉市教育委員会会議
第9回定例会会議録

千葉市教育委員会

令和6年千葉市教育委員会会議第9回定例会会議録

日時 令和6年9月18日(水)
午後2時00分開会
午後2時32分閉会
場所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 鶴岡 克彦
委 員 小西 朱見
委 員 藤川 大祐
委 員 高津 乙郎
委 員 大山 尋美
委 員 大濱 洋一

出席職員 教 育 次 長 秋幡 浩明 学 事 課 長 長谷川 信
教 育 総 務 部 長 香取 徹哉 教 育 指 導 課 長 八斗 孝之
学 校 教 育 部 長 川名 正雄 教 育 支 援 課 長 保田 裕介
生 涯 学 習 部 長 齋木久美子 保 健 体 育 課 長 太刀川 裕
学校教育部参事(教育改革推進課長事務取扱) 松田 昌幸 保 健 体 育 課 担 当 課 長 桑田 秀幸
中 央 図 書 館 長 佐久間仁央 教 育 セ ン タ ー 所 長 細川 義文
総 務 課 長 山田 利雄 養 護 教 育 セ ン タ ー 副 所 長 山路 里美
企 画 課 長 補 佐 塚田 隼人 生 涯 学 習 振 興 課 長 志保澤 剛
教 育 職 員 課 長 川島 政美 文 化 財 課 長 君塚 常行
教 育 給 与 課 長 吉野 嘉人 総 務 課 長 補 佐 金井 拓也
学 校 施 設 課 長 堀 明德

書 記 総務課総務班主査 猪飼 恭平 総務課主任主事 山口しのぶ

- 1 開会
教育長より開会を宣言
- 2 会議の成立
全員の委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名
鶴岡教育長より大山委員を指名
- 4 会期の決定
令和6年9月18日（1日間）とすることで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 非公開審議の決定
議案第185号について非公開とすることを全委員異議なく決定
- 7 議事の概要
 - (1) 報告事項
報告事項(1) 第67回千葉市小・中・中等教育・特別支援学校児童生徒作品総合展覧会【科学部門】について
八斗教育指導課長より報告があった。
報告事項(2) 令和6年度中学校体育大会結果報告について
太刀川保健体育課長より報告があった。
 - (2) 議決事項
議案第185号 令和6年度千葉市教育功労者表彰について
山田総務課長より説明があった後、全委員異議なく、原案どおり可決した。
 - (3) 発言の要旨
報告事項(1) 第67回千葉市小・中・中等教育・特別支援学校児童生徒作品総合展覧会【科学部門】について
鶴岡教育長 報告事項（1）「第67回千葉市小・中・中等教育・特別支援学校児童生徒作品総合展覧会【科学部門】について」、教育指導課長、説明をお願いします。
八斗教育指導課長 「第67回千葉市小・中・中等教育・特別支援学校児童生徒作品総合展覧会【科学部門】について」、お手元の報告事項（1）に沿って報告いたします。
議案書の1ページをお願いいたします。
9月7日から9日までの3日間、きぼーる1階の「きぼーる広場」と「千葉市科学館」を会場に開催いたしました。
この総合展覧会科学部門は、夏休みに児童生徒が取り組んだ

自由研究の科学工夫作品や論文の優秀な作品を一堂に展示し、その成果を公開するものです。

「3 出品点数」ですが、各学校から選ばれた作品総数は929点です。その中から201点を「推奨」として選出し、さらにその中の93点を10月19日から20日に千葉県総合教育センターで行われる「千葉県児童生徒・教職員科学作品展」に出品いたします。

「4 会期中の入場者数」についてですが、今年度は、昨年度の入場者数を若干下回り、3日間で4,626人の参観者となりました。出品数や生徒数の減少が理由と考えられます。

「5 展示」ですが、十分な広さがある「きぼーる広場」には、小学校の全学年の科学論文を展示しました。展示スペースを広く確保するため、論文の作成過程で使用した実験道具等の附属品は展示せず、論文ができるだけ重ならないよう並べたことにより、論文冊子を開いて見入る人々の姿が多く見られました。

7階の企画展示室には、小学校全学年の科学工夫作品、8階科学実験室には、中学校の科学論文及び工夫作品を展示しました。

様々な角度から観察や実験を行い、科学的な手法に基づいて、探究した論文や、実用的なアイデアを取り入れた工夫作品が展示されました。工夫作品では、祖父母のために工夫した作品が多く出品され、当日は、ご家族で和やかに参観する姿も見られました。

今年度も、教育長賞を受賞した工夫作品を、タブレットを用いて動画で紹介しました。参観者は、作品の動きや工夫を熱心に見ていました。また、小学生が中学生の作品を真剣に見ながら、来年は「こういう物を作ってみたい」、「こういう実験をしてみたい」と話す声が聞こえ、改めて展覧会を開催する意義を感じました。

「6 教育長賞受賞者の作品について」は、2ページの資料をご覧ください。

なお、来年の1月25日土曜日から2月2日日曜日には、総合展第2部（書写、図画工作・美術、家庭、技術・家庭、特別支援教育部門）を開催する予定です。

以上で、報告を終わります。

鶴岡教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かございますか。

大山委員 私も、当日、見に行かせていただきました。今回作品のスペースが広がっていただけましたので、作品を手にとれる論文は実際に

見やすかったです。

それと動画の見られるものがあつたので、作品の素晴らしさが、目で見ることができましたので、来場した方たちも作品のよさがすごく分かつたのではないかと思います。

それと、都賀中学校の科学部の先生が生徒を引率していらっしゃるやっつていまして、作品を出しているというのもあると思うのですが、ほかの生徒たちの作品などもすごく熱心に見ていて、とてもいい場面が見られたなと思いました。

ぜひ、科学とか理科とか、サイエンス系の部活をやっていらっしゃるほかの学校も、そういうふうに見に行くというのもいいことかなと思って引率した先生を褒めたのですが、生徒たちもとても楽しそうにしていたので、いい部活動をしているなと感じました。

最後に、今回、おじい様のためにという工夫作品が選ばれているのですが、その隣に、おばあ様のために作品を作った生徒が市長と写真撮影を行っていて、少しおばあ様とお話ししましたら、本当に自慢の孫ですと言って、とても喜んでいました。今回、作品の中に、家族のためにというのが結構あり、今までとちょっと違う目線の作品が増えていると思いました。生活になじんだものが結構あるので、先生方の指導も、実りあるものなのかなと感じました。

とてもよかつたと思います。ありがとうございました。

小西委員 私も参加させていただいた感想になります。昨年以上に継続研究とか、夏休みだけではなくて1年を通してやっているような研究が多くなって、本当に感心しきりでした。

昨年、前委員の竹田先生からご指摘があつた、論文をジャンル別で展示してはどうかというご意見ですが、私も拝見をしながら、全学年をまとめてしまうとすごく見にくくなってしまふかもしれないませんが、同じ学年であればある程度ジャンルをまとめておいていただければ、同じものに興味を持つ子どもたちが、新しい視点を発見しやすいかなと改めて感じたので、引き続き、ご検討いただければと思います。

あと、これも意見なのですが、小学校の科学論文で教育長賞を取つた子の論文であるとか、推奨を取つた子の論文の中に何人かが、日本植物生理学会というところに、自分でメールで質問をして、本当に京都大学の研究者から回答をいただいて、それを基に、

さらに研究を深めていくというようすばらしい作品が何点かありました。

私も保護者として、自分の子どもと研究をしていると、夏休みの途中で「これってどうしたらいいんだろう」と疑問が湧くことがありました。ただ、千葉市科学館の相談会は夏休みの最初のほうに、1週間ぐらいでかつ対面式であって、なかなか気軽に聞けないので、科学館で夏休み期間中だけでも、メールで一人何回までとか限定をつけるような形でもいいので、気軽に質問ができるような制度があると、やるほうにとっては、より研究が深まるのかなと感じました。人員や予算の問題もあると思うのですが、これも引き続き、ご検討いただければと思いますので、よろしくお願いします。

八斗教育指導課長 今、委員がおっしゃったように、興味関心を広げることを第一に考えながら、作品展示方法について考えていきたいと思えます。

また、科学館等についてご意見をいただきましたので、検討してみます。ありがとうございました。

鶴岡教育長 ジャンル別についてですが、並べて展示すると比べられてしまうだろうというのがありました。同じ学年だと、アサガオとかダンゴムシとか、みんなが研究してくるものはだいたいもう決まっているかと思えます。これを隣に並べて、一方は何々賞で、一方は何々賞だとかわいそうだろうということで、実は配慮したところがあります。ですので、どこまでジャンル別にするのがいいのかなと少し思っています。

八斗教育指導課長 そういうのもありますし、また「きぼーる広場」というところは、期間中、毎回終わると、またしまわなければいけないのです。作品を撤収しますが、施錠ができない関係で紛失がないかをその都度点検するというのもあって、学年ごと、学校番号の順に並べているというような事情があることはあります。ただ、そういうことも加味しながらの展示方法というのを考えていきたいと思えます。

大濱委員 私は参加していなかったのですが、お伺いしたいのですけれども、特別支援学校の児童生徒の作品というのはどのぐらいの割合だったのでしょうか。

八斗教育指導課長 科学、図画工作などの各分野においては、各小・中・中等教育学校が児童生徒数に応じて出品数を展示しています。

特別支援学校や各学校に設置している特別支援学級においては、1月に開催する総合展第2部で、特別支援教育の部を設けて、平面、立体の作品の出品を求めているところです。

総合展第1部の科学では、特別支援学校には、出品数は提示していませんが、希望する特別支援学校があれば検討していきたいと思います。

また、各学校の特別支援学級の児童生徒についてですが、学校が提出する出品作品の目録には学年のみを明記しているため、特別支援学級の児童生徒の作品があるかどうかは把握ができていません。今後、特別支援学級の児童生徒の出品かどうか分かるよう、目録に記載するとか、個別に学校から報告を受けるなどして、把握する工夫をしていきたいと思います。

報告事項(2) 令和6年度中学校体育大会結果報告について

鶴岡教育長 次に、報告事項(2)「令和6年度中学校体育大会結果報告について」、保健体育課長、説明をお願いします。

太刀川保健体育課長 報告事項(2)「令和6年度中学校総合体育大会の結果について」報告させていただきます。

3ページをお開きください。

「千葉市中学校総合体育大会」は、7月13日から21日の9日間、生徒の健康安全面に配慮し、暑さ対策を講じて開催いたしました。

また、「千葉県中学校総合体育大会」は、本市をはじめとした50会場で、7月20日から8月2日まで、関東大会は、8月6日から11日まで、全国大会は、8月17日から25日まで、北信越ブロックで開催されました。

4ページをご覧ください。

千葉市総合体育大会団体戦の結果となります。網かけが、県大会に出場したチームとなります。

次に、7ページをご覧ください。

県大会・関東大会・全国大会の団体戦の結果となります。全国大会では、バレーボール女子、ハンドボール男子で、若松中学校が、剣道男子で幕張本郷中学校が出場し、幕張本郷中学校が3位となりました。

8ページをご覧ください。

ここからは、県大会・関東大会・全国大会「個人戦」の結果と

なります。

県大会では、陸上競技、水泳、新体操、柔道、剣道で優勝がございました。

関東大会には、7種目に75人が出場し、陸上競技女子800メートルで山王中学校3年生が第1位、女子共通走り幅跳びで有吉中学校3年生が第1位、水泳の女子400メートルメドレーレーで稲毛インターが第1位、柔道の男子73キログラム級で轟町中学校3年生が優勝しました。

最後、全国大会には、5種目に40人が出場し、剣道男子で幕張本郷中学校の3年生が優勝しました。

15ページをご覧ください。

総体にクラブチームの参加が認められて今年で2年目となりますが、昨年度よりもクラブチームから参加する生徒が増えました。昨年度のクラブチームからの参加は3種目9チーム76人でしたが、今年度は7種目23チーム153人でした。

今年度の中学校体育大会を総括してみますと、市総合体育大会から関東・全国大会まで、昨年度と同様に大変暑い中での実施となりました。市総体では、本市が総体用に作成した暑さ対策マニュアルを見直し、暑さ対策のチェックリストを活用して、大会運営を行いました。各会場では、生徒の健康面に配慮して、休憩を多く取り、水分補給をしたり、実施時間を調整したりするなど、万全の体制で臨み、熱中症を防ぐことができました。

来年度も、子どもたち一人一人が目標に向かって努力した成果を、大いに発揮し、大会で輝くことができることを期待するとともに、そのためのよりよい環境づくりに努めて参ります。

報告は、以上でございます。

鶴岡教育長 審議に移りますが、質問等、何かございますか。

藤川委員 ご報告ありがとうございます。また、大会の実施に当たりましては、大変多くの方々にご尽力いただきまして、感謝申し上げたいと思います。

大きく2点、ご質問をさせていただきます。

1点目は、今お話があったクラブチームの参加に関してです。資料で丁寧にご説明いただきましてありがとうございました。かなり参加が増えている状況でありますし、これはまだ過渡期で今後も増えていくのかなと思われれますが、クラブチームがこうやって参加する中で今見えている課題等があれば、ぜひ教えていただ

きたいと思います。

例えばですが、クラブチームで、複数チームが出る競技などがあれば、クラブチームで参加者を調整して最強チームをつくったりして、ほかの学校との間の不平等さが生まれるなどということもあるかもしれません。あるいは、例えば、クラブチームが持っている施設などを会場に使わせてもらえると、より環境のいい体育館とかプールとかを使えるのかなということも思ったりもするわけですが、そういうことはうまくできているのかどうかとか、様々なことがあるのかなと思いますので、ぜひ、クラブチーム参加の状況について今お感じのことがあれば、ざっとでも構わないので課題を教えてくださいたいと思います。

2点目ですが、個人情報の管理についてですけれども、前から気になっていて、かなり多くの選手氏名が実名で資料に載っているのですが、この資料は公開資料ですよ。つまり、ホームページに載るですよ。ということはもしかしたら、検索して引っかけやすいのではないかと思うのです。

そうすると、例えば、この中から少し有名な人が出てきたりだとか、あるいは、何か問題が生じた場合などに、過去の名前で検索して「千葉市に住んでいたんだ」、「中学校時代千葉市にいたんだ」みたいなことが分かってしまう可能性もあるのかなと思うわけですね。あるいは、出身中学校なども分かってしまう可能性もあるわけですね。

この個人情報について、従前からの習慣でこうやって設定できたのだらうと思うのですが、かなり個人情報が基でリスクが生じ得る社会になってきた中で、従前どおりでいいのかどうかということは一旦考える必要もあるのかなと思ひまして、個人情報の管理について、今お考えのこと等あれば教えてください。

以上、2点です。お願いします。

太刀川保健体育課長　まず1点目のクラブチームの総体の参加についてですが、これは種目ごとに、競技ごとにかなり、違いがございまして、例えば、陸上競技などは本当に少ないというか、今回は1人だけです。サッカーなどは、結局クラブチームはクラブチームの大会がございまして、中学校の総体には一切出てこないという状況があります。

そのような中で、市としましては、県大会の要項を基にクラブチームの出場については考えているところで、今後も総体に出場

するクラブチーム数が増えてくるかと思いますが、地域移行と兼ね合いするところもあるので、地域移行の担当と連携しながら、今後検討していきたいと考えております。

2つ目の個人情報の件についてですが、これについては、ホームページでは個人名は載せないことになっております。総合プログラムや学校のプログラムには載せますが、ホームページには載せないという形になっておりますので、その辺りは考慮しております。

鶴岡教育長 1点目のクラブチームの参加に関する課題という部分についてももう少し詳しくお願いします。

桑田保健体育課担当課長 部活動地域移行担当でございます。

課題といたしまして、委員がおっしゃった勝利を目指すチームというのは確かに増えてきた感覚はあります。そのようなチームは専門的な指導者が指導をすることから、高いレベルで練習をし、試合に臨んでいます。

それは、チームの目的というところがあるので、なかなかそこを制限することは難しいと思います。一方で、それぞれ部活動やチームは特色がありますので、現時点では優秀な生徒の引き抜き合戦というのはあまり起こらないのかなと考えております。

一方、クラブチームが増えることで、例えば、柔道連盟の方と話をしたところ、運営にクラブチームの指導者が参加をしているのですが、大会だけではなくて平日に行われる顧問会議などにも参加する必要があることから、会社員にとっては、運営の負担が大きいというようなことを、おっしゃっていました。

今後、運営が教員以外の方も入ってくるというところになりますと、そういった部分で役割分担をどのようにして大会運営をしていくのかというところが、千葉市だけではなく全国的な課題となりますので、そこは全国の中体連の動きを見ながら千葉市も取り組んでいかななくてはならないと考えているところです。

藤川委員 ありがとうございます。大変参考になります。

鶴岡教育長 私も質問させてください。教員の立場からの発想でいうと、大会に参加するなら審判をやってほしいと。運営面について、今までのように教員だけで審判等をやっていくのか、それとも、クラブチームが入ってきたことで、クラブチームの引率の方とかコーチの方が運営にも携わり始めているのか、そこだけ少し教えてもらいたいと思います。

桑田保健体育課担当課長 実際バレーボールの試合を見に行きましたところ、クラブチームの監督が審判やサポートの役割を担っていましたので、当日の運営自体はしっかりと行っております。

また、先日、地域移行の実証実験を実施している現場を見に行ったところ、学校の部活顧問と、クラブチームの方たちとが交流をして、合同練習を行っていました。そのため、大会当日だけ突然クラブチームが参加というよりも、部活やクラブチームの垣根無く日々交流しながら活動しており、うまくいっているのかなというふうに考えております。

小西委員 今さらながらの質問なんですけれども、県大会に出場しているのがグレーの網かけかと思いますが、例えば、ソフトテニスだと男子は優勝しか県大会に行けなくて、女子は3位でも行けるという差はどこにあるのでしょうか。どういった場合に県大会に行けるのか、何か理由があれば教えてください。

太刀川保健体育課長 各競技、種目におきまして、上位大会、県大会に行く枠数というのも決まっております。枠数については、各市、各種目等の参加チーム数の多い少ないで決まっております。例えばテニス部の女子は男子に比べて非常にチームが多いので、出場枠数も多くなります。なお、出場参加枠数については、千葉県小中体連専門部のほうで割り振られております。

小西委員 分かりました。ありがとうございます。

鶴岡教育長 よろしいでしょうか。

では、以上で、公開審議案件に係る審議が終了いたしました。委員の皆さんここまでで、「その他」として、ご意見、ご質問か何かございますか。

(「なし」という声あり)

鶴岡教育長 次に、議案第185号に係る審議に移りますが、以降の審議については、非公開となります。

議案第185号 令和6年度千葉市教育功労者表彰について

鶴岡教育長 改めて審議を再開します。

議案第185号「令和6年度千葉市教育功労者表彰について」、総務課長、説明をお願いします。

山田総務課長 総務課でございます。

議案第185号「令和6年度千葉市教育功労者表彰について」ご説明いたします。

本議案は、令和6年度千葉市教育功労者として、議案書に掲げる方々を表彰することについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第8号の規定に基づき、議決を求めるものでございます。

初めに、参考資料の3ページをお願いいたします。

表彰候補者の推薦につきましては、こちらの「千葉市教育功労者表彰規則」及び6ページにございます表彰基準細則に基づき、関係所管及び関係団体からご推薦いただき、その後、8月に教育功労者表彰審査委員会において書面にて審査をしております。

それでは、議案書(2)の2ページをお願いいたします。

今年度の表彰候補者の内訳についてご説明いたします。

令和6年度表彰候補者推薦数でございます。

学校保健関係で24人、生涯学習関係で1人、学校教育関係では、校長6人、教諭4人、養護教諭1人で合計36人でございます。それぞれの内訳については、備考欄に記載のとおりでございます。また、今年度、団体の部の推薦はございませんでした。

次に、3ページから4ページは表彰候補者の一覧でございます。各表彰候補者の詳細につきましては、5ページ以降にございます「表彰候補者一覧」の推薦事由、功績概要等をご覧いただければと存じます。

なお、表彰式典でございますが、11月13日水曜日、午前10時30分から、オークラ千葉ホテルで開催の予定でございます。説明は以上でございます。

鶴岡教育長 審議に移りますが、質問等を含め、何かございますか

小西委員 1点気になったのが、校長先生の受賞者が今年とても減っているなと思ったのですが、これは偶然なのか、もしくは何か原因とか背景があるのか、分かれば教えてください。

山田総務課長 校長の推薦数につきましては、昨年に比べると若干減っています。令和2年度までは、退職校長一律に表彰していたということがございまして、30人、40人表彰していた時期がございましたが、令和3年度以降は、県の表彰や叙勲の表彰の推薦数などを考慮して、あるいは日頃の勤務の評価等考慮して、表彰対象者を絞っている関係です。

鶴岡教育長 母数に対しての割合がありましたよね。

藤川委員 去年は11人でしたので、それよりもさらに少ないですね。

山田総務課長 役職定年となる校長自体も減っているというのが、要因の一つであるとは考えております。

鶴岡教育長 役職定年60歳の校長の人数を出して、それに対する割合で何人という出し方をしています。去年は役職定年の人数が多かったのですが今年は少ないので、その分表彰人数が少なくなったという捉えでよろしいかと思えます。

他にご質問はいかがでしょうか。よろしいですか。

では、ご質問がないようですので、議決に移ります。

議案第185号「令和6年度千葉市教育功労者表彰について」を議案どおり可決したいと考えますがいかがでしょうか。

(「異議なし」という声あり)

鶴岡教育長 ご異議ないようですので原案どおり可決いたします。

8 その他

第10回定例会は、10月23日 水曜日 午後2時00分からとした。

9 閉会

鶴岡教育長より閉会を宣言